

インフルエンザ週報 2015年 第7週 (2月9日～2月15日)

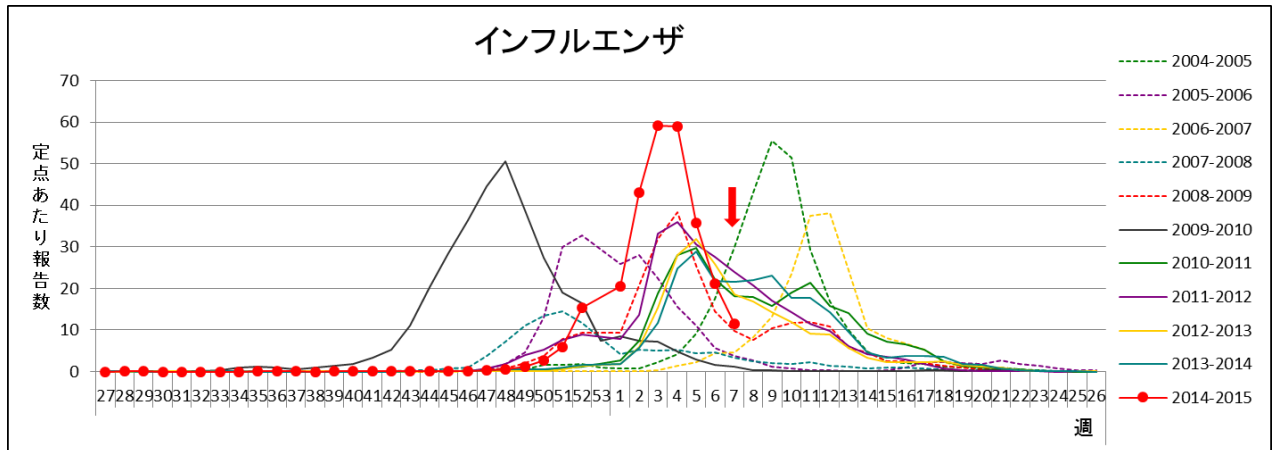
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で957名(定点あたり21.14 → 11.39人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が37施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者6名の報告がありました。

【第8週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が9施設でありました(2月16日～18日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で957名(定点あたり21.14 → 11.39人)の報告があり、3週連続で減少しました(84定点医療機関報告)。県全体の報告数は、第3、4週をピークに大きく減少したものの、依然として多くの患者が報告されており、県内での流行は続いています。岡山県は、『インフルエンザ警報』発令中であり、引き続き広く注意を呼びかけています。

地域別では、倉敷市(16.38人)、備北地域(13.83人)、備中地域(13.25人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。全ての地域で患者の減少がみられましたが、倉敷市、備北地域、備中地域、真庭地域(13.00人)では、大きな流行が継続しています。

『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

◆インフルエンザは依然として流行期にあります。 ひきつづき感染予防に努めましょう。

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな?という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	957	↓	備 中	患者数	159	↓
	定点あたり	11.39			定点あたり	13.25	
岡山市	患者数	217	↓	備 北	患者数	83	↓
	定点あたり	9.86			定点あたり	13.83	
倉敷市	患者数	262	↓	真 庭	患者数	39	↓
	定点あたり	16.38			定点あたり	13.00	
備 前	患者数	107	↓	美 作	患者数	90	↓
	定点あたり	7.13			定点あたり	9.00	

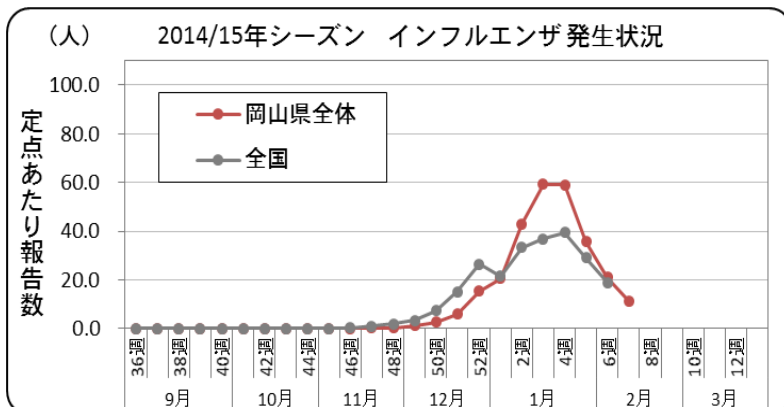
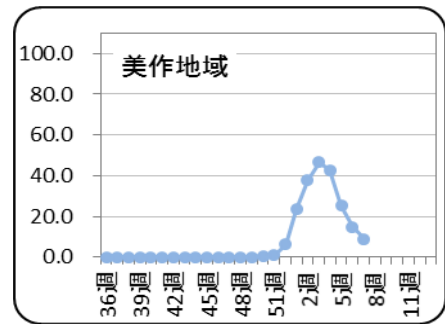
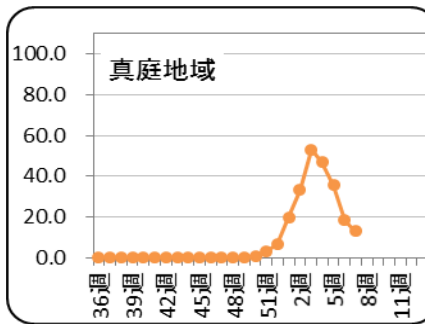
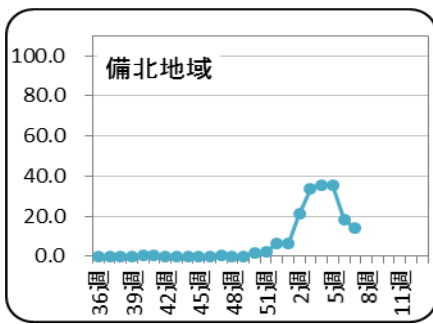
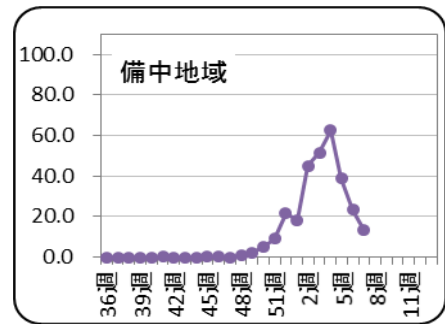
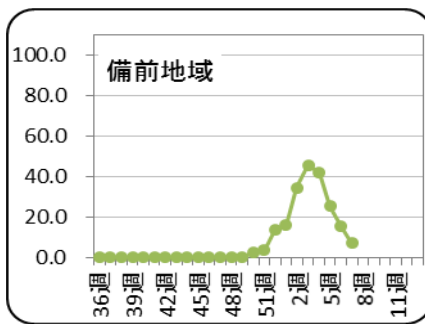
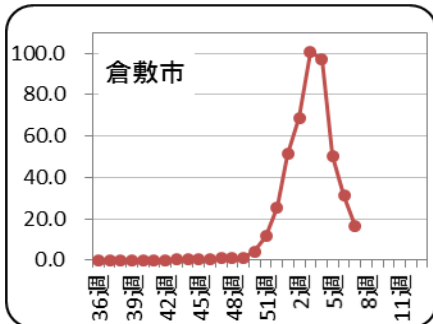
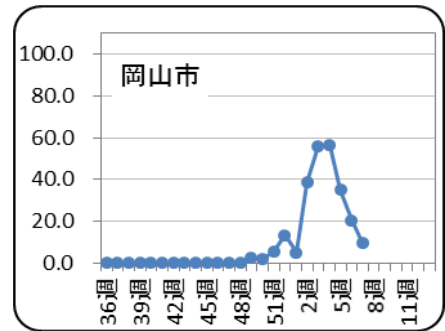
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 →
 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満
レベル1		報告なし
基準値		基準値
0< 10未満		0

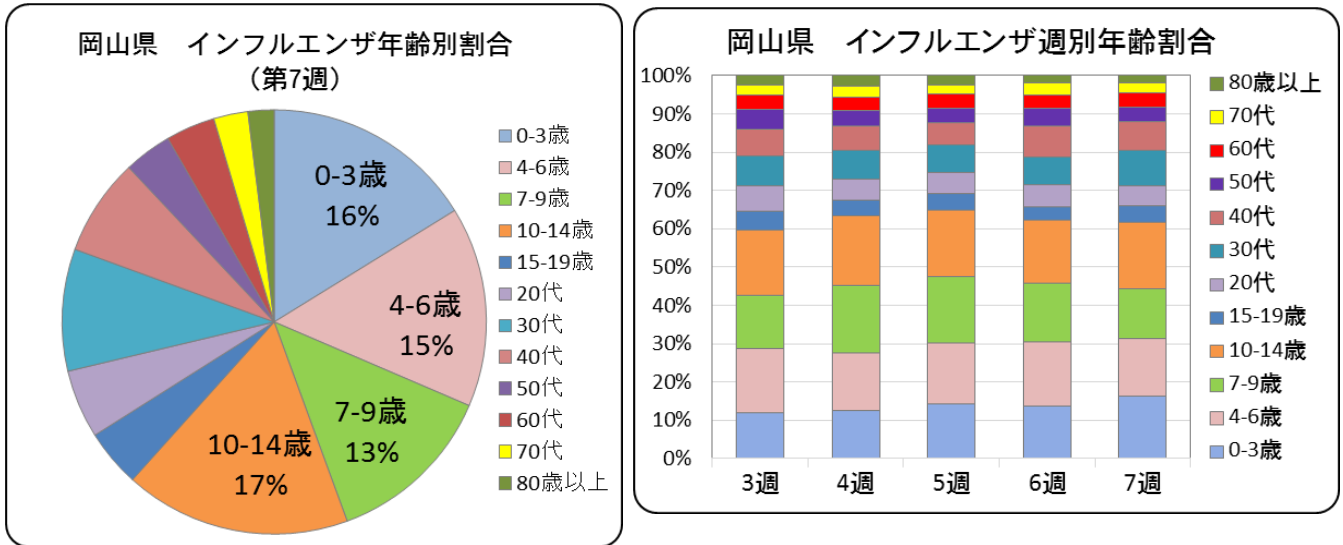


全国集計第6週（2/2～2/8）速報値によると、全国の定点あたり報告数は19.03人であり、前週（29.11人）よりも減少しました。

都道府県別では、新潟県（35.86人）、大分県（34.48人）、鹿児島県（31.96人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、全ての都道府県で前週の報告数よりも減少しました。

2. 年齢別発生状況

第7週の年齢別割合は、10-14歳 17%、0-3歳 16%、4-6歳 15%の順で報告数が多くなっています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

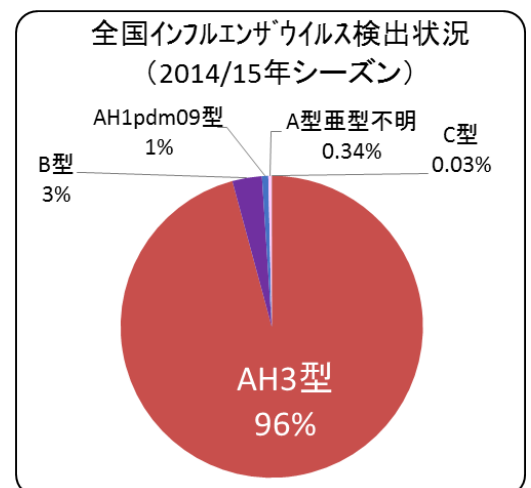
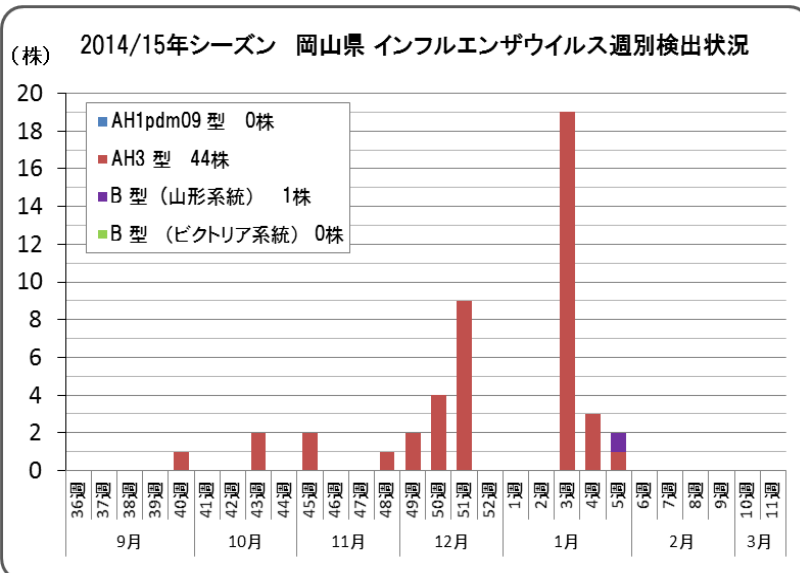
第7週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはAH3型が6株、B型が1株でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が44株（98%）、B型が1株（2%）となっています。

・ [\(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況\)](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く96%、次いでB型が3%、AH1pdm09型が1%の順となっています。（2015年2月19日現在）

・ [\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 \(国立感染症研究所\)\)](#)

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスB型	2015年第5週(1/26~2/1)	2015/1/28	岡山市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/17	備中	小学生	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/16	岡山市	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/16	岡山市	10代	男	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/16	岡山市	40代	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/16	備中	小学生	女	
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/15	岡山市	80代	女	

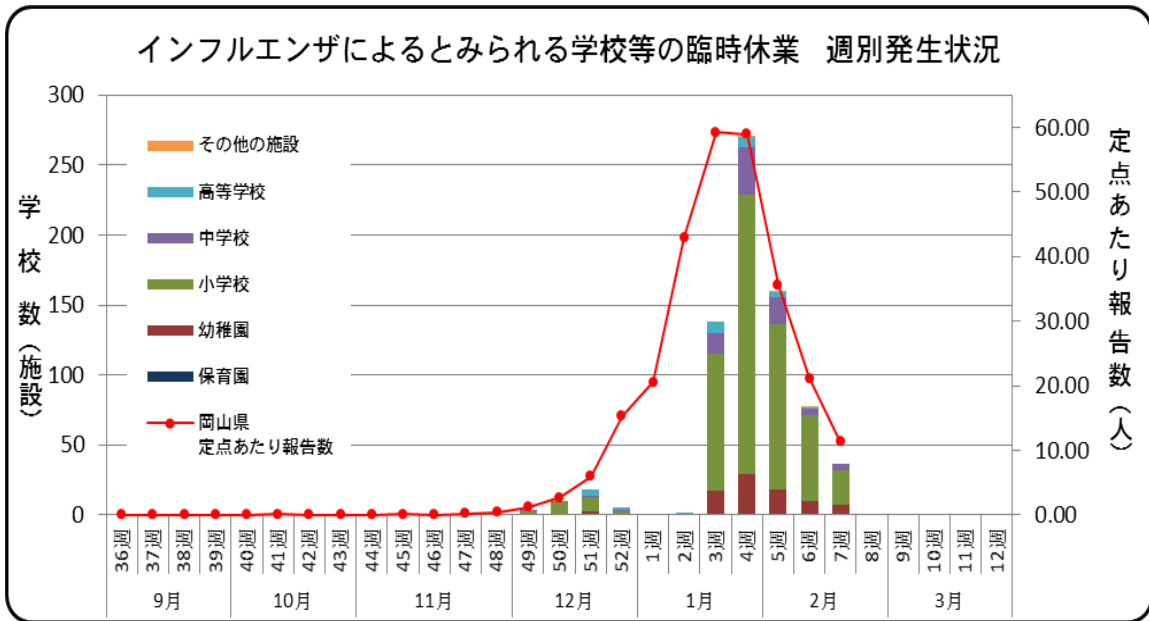


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 37 施設でありました。

【第7週 臨時休業施設数】

▽岡山市 10 ▽倉敷市 8 ▽津山市 5 ▽玉野市 2 ▽総社市 2 ▽高梁市 2
▽赤磐市 2 ▽美作市 2 ▽矢掛町 2 ▽真庭市 1 ▽浅口市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	461	11655	347	9075	37	724	0	15	13	175	24	534	H26.10.21
岡山市	170	4881	116	3668	10	285	0	2	2	39	8	244	H26.12.1
倉敷市	104	2773	74	2263	8	152	0	3	2	24	6	125	H26.10.21
備前地域	41	672	34	566	4	55	—	—	1	20	3	35	H26.12.9
備中地域	39	1509	36	1190	5	116	0	5	4	45	1	66	H26.12.8
備北地域	39	286	25	146	2	8	0	1	1	4	1	3	H27.1.16
真庭地域	12	205	12	172	1	19	0	1	0	10	1	8	H26.12.16
美作地域	56	1329	50	1070	7	89	0	3	3	33	4	53	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第7週：37施設

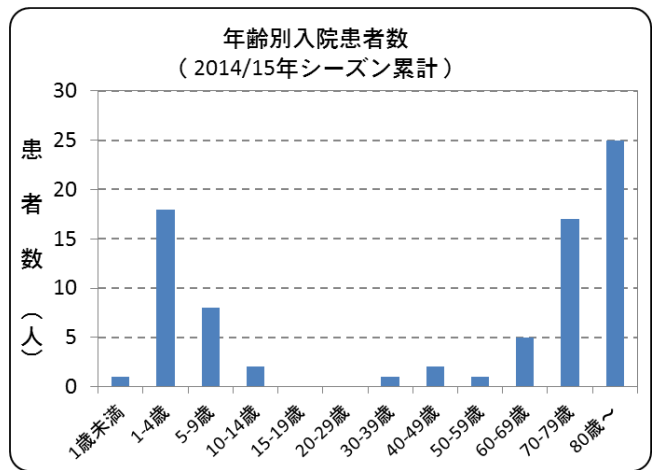
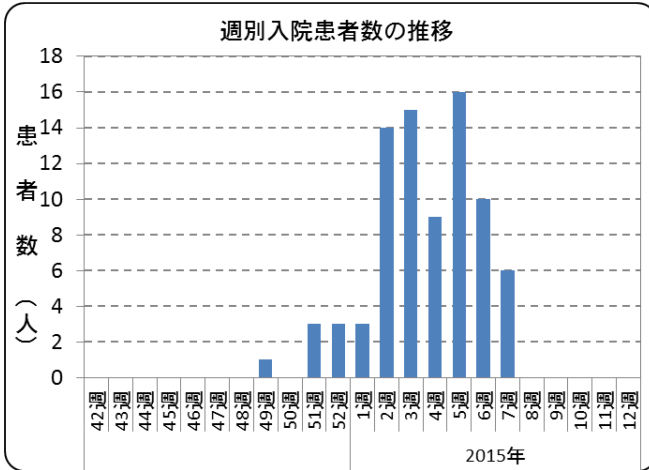
累計：724施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	7	84	25	530	5	82	0	25	0	3

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、6名（1歳未満 1名、1-4歳 2名、70-79歳 1名、80歳以上 2名）の報告がありました。入院患者の多くは、4歳以下の幼児と70歳以上の高齢者となっています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 7 週 入院患者報告数】

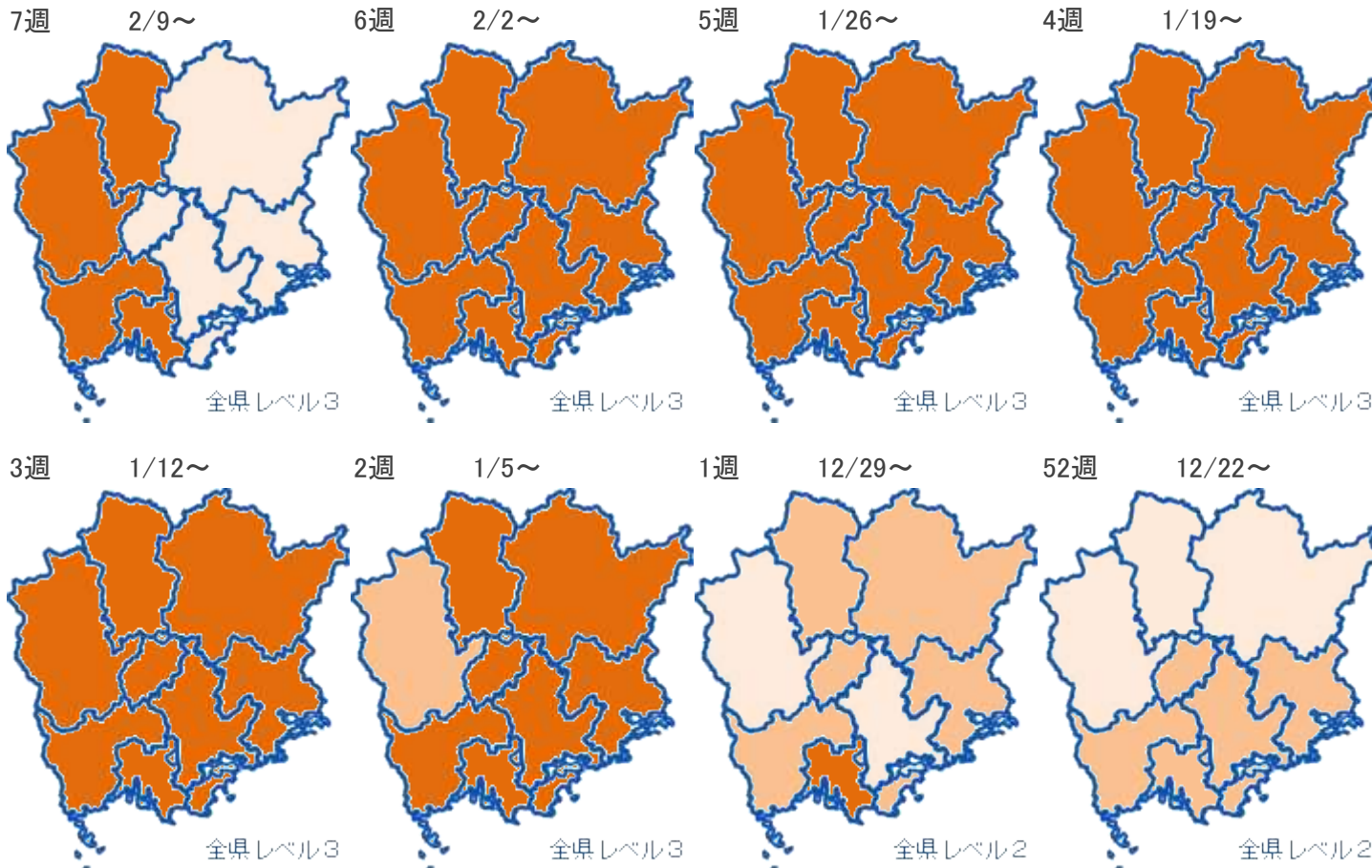
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	2									1	2	6
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)													
頭部 MRI 検査 (予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず	1	2									1	2	6

* 重複あり

【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	18	8	2			1	2	1	5	17	25	80
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		5								2	3	3	13
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							2		4
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず	1	13	8	1			1	2	1	3	12	22	64

* 重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
30	10	10 以上 30 未満		0 < 10 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。